

## 中央大学での考察と交流

北京第二外国語学院学生代表

見学日時：2017年12月4日（月） 16:30-19:30

見学場所：中央大学

### 見学概要

12月4日の午後、私たち一行は中央大学の本部を訪れた。同大学は法律家によって創設され、今回私たちと交流をする20数名の学部生や大学院生も、そのほとんどが法学を専攻していた。まず日本の学生から中国語での学校紹介があった後、日本と中国の学生が混合でグループを作り、決められたいくつかのテーマから自由に選びグループ討論を行った。そして最後に討論の成果について各グループがそれぞれ5分間の発表を行った。夕食の際は学生が自由に、互いに興味のある問題について交流をし、多くの学生はまた連絡先の交換などを行った。



### なぜですか？

問：中央大学で最も有名な学部は何か？

答：中央大学は日本の関東地区の「難関私大」の一枚であり、多くの日本の学生が理想とする大学である。同大学は当初18名の法律家が創設したことから、法学部は日本において特に有名で、130年以上の歴史を持っており、中央大学の毎年の司法試験の合格率は日本でもトップ3の地位を維持し、卒業生は日本の法曹界において強い影響力を有している。この他、中央大学は政界、経済界、文化界、ひいてはスポーツ界、芸能界等社会の各界においても強い影響力を形成している。

### 感想

今回の見学と訪問を通じ、私たちは本当の意味で日本のトップクラスの大学における学習状況を知ることができた。私たちが訪問した後楽園キャンパスの場所は皇居の近くにあり、これほど現代化した場所にこうした学校があることで素晴らしい景観を構成していた。今回私たちとの交流に訪れた中央大学の学生の多くは、大学本部がある多摩キャンパスから来ており、後楽園キャンパスの風景とは大きく異なり、郊外にある多摩キャンパスでは自然の景観がとても素晴らしいとのことであった。これほど遅い時間に郊外からわざわざ私たちとの交流に来てくれたことには驚いたと同時にとても感動した。中央大学から受ける雰囲気は一風変わっていた。トップクラスの大学ではあるのだが、皆の課外生活がとても充実しており、多くの学生の思想もとてもユニークであった。



今回、中央大学での見学を通じ、私たちは日本の大学生の英語のレベルが中国の大学生ほど高くはないという印象を受けた。あるいはその専攻と関連があるのかもしれない。その点について中央大学の学生に訊ねてみたところ、日本の英語教育への重視度合は確かに中国とは異なるとのことであった。日本では、英語の授業が早くても小学三年生から、遅いところでは中学生から始まる。また単語の量もさほど多くなく、多くの中学校の英語の授業では少し学んでみる程度で遊びに近いものもある。もちろんこれは普通の学校の場合で、一部の進学校では優秀な学生を東京大学等の清華大学に劣らない有名な学校に進学させるために、英語の授業も難易度が高いものとなっている。

日本の教育の問題から、日本の学生の外国語レベルは低いのではないかと考える人が多いが、実際はそうではない。まず私たちに学校の紹介をしてくれたのは清華大学での留学経験のある学生で、日本人には比較的難しいとされる巻き舌音を含めて全体的に中国語の発音がとても良かった。これには中央大学の学生の優れた外国語のレベルを感じることができた。テーマ討論の際は日本の学生の発表時の立ち振る舞いの素晴らしさを感じた。日本の大学では日頃からグループ討論を行い発表する場を設けているため、多くの学生はとても堂々としている。いかに聴衆の注意を引き付け、ミスをした時にはいかにユーモアを交えてその場を乗り切るか、いかに皆の積極性を引き出すか、これらは私たち中国の大学生が学ぶべきものだと思った。また日本の学生の多くの授業ではグループ内討論が行われ、教師への依存度が低いとのことである。一方中国の多くの学校では教師による解説への依存度が依然として高い。

中央大学の学生たちは私たちにとても良くしてくれた。最後の懇親会では多くの学生が私たちと積極的に交流を図り、中国についてのたくさんの質問をしてくれた。中国の文化や法律制度についても一定の理解をしている学生が多く、専門知識について私たちと交流をした他、その他多くの学生もまた自身の趣味や好きなスポーツなどについて交流を図り、さらには互いの連絡先を交換していた。

短い時間と住む地域の違いは、日中双方の若者に隔たりをもたらすものではなかった。皆は若く、同じ思想や趣味を持ち、話の合う話題では互いに笑顔で一つになることができる。また多くの学生は留学に関することについても意見の交換をした。両国がより多くの留学プロジェクトを展開し、両国の学生の交流を促進し、優秀な日本の学生に中国の文化をより知ってもらい、両国の新たな世代が互いに交流そして理解をすることでより平和で安定した日中の友好関係の構築に繋がることを願っている。

